

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立南小岩小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	50.0%	45.0%
令和 7 年度の目標	45.0%	40.0%
令和 6 年度の結果	42.6%	26.2%
令和 5 年度の結果	44.6%	39.8%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	29.8%	30.8%
第 5 学年	35.8%	38.8%
第 4 学年	38.4%	50.8%
第 3 学年	37.8%	39.4%

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
	学校全体の取組	・ 週 2 回以上「ドリルパーク」を活用した学習を行い、漢字と計算技能の定着を図る。 ・ 読書科の授業や週 2 回の朝読書等を通して、本で学ぶ児童を育てる。（調べる学習コンクール…高学年出品） ・ 高学年の児童が子供新聞を活用できるような環境を整えることや記事と学習を関連させること等を行い、言葉の構築に繋がるよう語彙を増やしていく。 ・ 全校（1 年生は 2 学期から）算数科において、習熟度別指導を取り入れ、きめ細かな指導を行う。	・ 全学年、週 1 回日記を書く活動を取り入れる。 ・ 中学年以上は、自主学習に取り組ませる。 ・ 4 年生以上は、「よむYOMUワークシート」週 1 回 程度取り組む。 ・ 週 3 回の朝読書の時間を設けて、文字を読む習慣を身に付けさせる。
	特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・ 「EDOスク」において、担当と連携を図りながら、児童一人ひとりのつまずきを把握する。 ・ タブレットを活用し、基礎基本学習の定着を図られるように繰り返し取り組ませる。	・ 漢字ドリルや計算ドリル等を実施する際、毎日シールを貼る取組を行う。 ・ 自己肯定感が高められるよう、個々に課題設定を行いながらスモールステップで取り組ませ、学習の習慣が確立できるよう支援を行う。
成果指標		・ 東京ベーシックドリルの診断テスト 8 割達成者 7 0 %以上になっているか	・ Study weekの全児童の目標達成率が 8 0 %以上になっているか。